

第277回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 令和4年4月11日（月） 11:00～12:20

2 開催場所 宇都宮東武ホテルグランデ

3 委員の出席 委員総数 5人
出席委員数 5人

(1) 出席委員の氏名 小笠原 伸 (委員長)
君島 理恵 (副委員長)
青木 敬信
新井 啓泰
高橋 淳

(2) 放送事業者側出席者 鈴木 峰雄 (代表取締役社長)
佐藤 望 (放送部長)
高賀茂 沙緒里 (放送部)

4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換
(2) その他
(3) 次回開催日程について

5 議事の概要

(1) 番組の試聴及び意見交換

2022年1月～3月に放送した番組「JA 共済 もしも劇場」について、
試聴と意見交換をおこなった。

事業者：2022年1月から3月にかけて、全12回にわたり、毎回異なったテーマで
展開した10分間のラジオドラマ。

共済（保険）は「転ばぬ先の杖」。不測の事態や、将来の不安について、

「備えていなかったら」「備えていたら」の2つの世界をイメージしてストーリーが
進行します。スポンサーによる「若い世代に向けた共済商品のPRをしたい」という
オーダーに対し、より具体的なイメージが伝わりやすいよう、ドラマ形式で
展開しました。

今回は、この番組を試聴して頂きます。

【 番 組 の 試 聴 】

委員：10分間 JA 共済の PR という、とても意欲的な・チャレンジ精神のある番組だと思う。

委員：こういったドラマ仕立ての番組は、質が問われるので難しい。
PR という部分をあまり見せず、リスナーを楽しませる必要がある。

委員：出演者の数が少ないのでパターンが決まってくるのは仕方ないが、
試聴した回に関してはサラッと流れていった印象。
これが毎回だと今後の展開の予想がつくので、最後までは聴かなくなると思う。

委員：話の内容がストレートでひねりがない。
脚本をもっと練る必要がある。マンネリにならないよう工夫してほしい。

委員：可能であれば、もう少し波乱のあるストーリーでも良いのではないか。
最後のポイントがまとまっていれば、内容はもっと奇想天外でも良いと思う。

委員：1話ごとに物語が完結しているが、連続ドラマのように2人が成長していく過程も聴きたかった。

委員：演出の1つとして、ナビゲーターがもっと物語の中で合いの手を入れて
リズムをつけてもいいのではないか。
演者が2人だけだとメリハリがなく、平凡な内容になってしまう印象もある。

委員：この番組は、脚本・ディレクターとすべて1人で制作しているが、もっと多くの
意見を出し合っていく必要があると思う。

委員：ラジオでのミニドラマは貴重。つい耳を傾けてしまうので、こういった取り組みは良い。

委員：“保険”という誰もが抱える問題をテーマにしているので、関心のあるリスナーは聴くと思う。

委員：スポンサーである JA さんは素人感が出ているが、これは良い印象。

委員：出演している地元の専門学校生たちの声優が上手で驚いた。

委員：物語に出てくる子どもの役の性別が、男の子なのか女の子なのかわからず気になった。

委員：ワイド番組内でのコーナーの1つになっているので、コーナーに入る前後にスタジオでフリがある
と面白い。聴いてみようかなと思う。

委員：朝・夕の放送時間帯が良い。主婦や会社帰りの人など幅広くターゲットにできる。

委員：夕方の時間帯は、ラジオショッピング「はびねすくらぶ」の後なので、パーソナリティと
離れる時間が長い。ここは編成的に検討が必要だと思う。

委員：保険紹介では、数字が具体的でわかりやすかった。

委員：保険をきちんと理解していない人も多い。
“備えが足りていない”とラジオで聴くとハッとする。

委員：「もしも～だったら」というタイトルが、わかりにくい回があった。
タイトルは導入部分なので具体的にしてほしい。

委員：穏やかな内容だが、今後はジェンダー的な内容を入れていく配慮も必要になるかもしれない。

委員：ラジオドラマは手間と労力がかかるが、今後に生きていくと思うので期待したい。

(以上)

(2) その他
なし

(3) 次回開催日程について
次回の開催を5月16日(月)とすることについて、全出席委員の了解を得た。

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日
なし

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日

(1) 放送 4月24日(日)午後7時55分の「レディオベリーインフォメーション」内

(2) 書面 本社事務所に備え置き

(3) インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項
なし